



特集	P 2
留学生と県民との交流会 タイ編	
情報公開	P 3
平成29年度収支計算書 ほか	
事業報告	P 4
情報相談コーナー・図書資料室 ボランティア研修会 ほか	
私、岡山に住んでいます	P 7
竹内アンドレ和郎さん 俵谷マテウスひろしまザルドさん (ブラジル/岡山県海外技術研修員)	
世界の文化	P 8
～成人って何歳から?編～	
Think Global, Act Local	P 8
～県内国際団体のご紹介～ 世界女性会議岡山連絡会	
寄稿	P 9
岡山県JICAデスク	
イベントカレンダー	P 10
国際貢献・協力セミナー ほか	

おかやま 国際交流



バンコクの正式名称を紹介する様子



民族衣装の紹介

留学生と県民との交流会 タイ編

6月30日(土)

講師: 岡山大学留学生 キオモントン・タナポンさん(スパンブリー出身)、スサムポン・パンディタさん(バンコク出身)、
ワッタナーポンピン・ニティワットさん(バンコク出身)

岡山で暮らすタイ出身の留学生と県民が集い交流会を開催しました。

タイがテーマの今回は、キオモントンさん、スサムポンさん、ワッタナーポンピンさんの3名が出身国であるタイについて、基本情報や各地域の名所、持参した伝統衣装などの紹介をしました。クイズコーナーでは、さらに知識を深め、タイをより身近に感じることができました。

参加者からは「タイの空気を味わえて良かった」「とてもきれいで魅力がある国だと分かった」「タイ語を勉強してみたい」「タイのいろいろな所に行ってみたい!」などの声が聞けました。

(詳細は、次ページをご覧ください。)

「西日本豪雨」による災害のお見舞い

このたびの、多大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、多くの尊い命が失われたことに対し謹んでお悔やみ申し上げます。

岡山県国際交流協会では、被災された外国人の皆様のために、多言語での情報提供や相談、無料の法律相談、在留相談を行っております。また、災害復旧支援の一助とするため、岡山国際交流センター1階窓口へ「豪雨被災地救援募金箱」を設置しましたので、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

特集

★ 留学生と県民との交流会 タイ編

岡山在住の留学生3名が、出身国のタイについて発表をしました。タイの位置や国旗の意味、あいさつ、バンコクの正式名称などの基礎情報、タイの国技ムエタイや有名なスポーツ選手、各地域の民族衣装や美しい名所など、様々なタイの文化を伝えました。伝統があり華やかで、外国人観光客にも人気の祭りについて取り上げ、伝統的な料理や



イベントの様子

フルーツを紹介しました。クイズコーナーでは、プレゼンテーションで紹介した祭りや食べ物、観光について出題し盛り上がりました。



フリートークの様子

総勢60名の参加者には、タイに住んでいた方、タイを訪れたことのある方、タイ出身の方がいて、タイ語が飛び交う場面もありました。留学生の熱意や笑顔は世代や国籍、立場を超えて伝わり、タイという国の豊かさやフレンドリーさを体現していたようでした。

タイにまつわるクイズに挑戦してみよう!

Q1 ソンクラーン(水掛け祭り)は何月に開催される?

Q3 タイの主食は麺、パン、米のどれでしょう?

Q2 タイ南部で人気の観光は?

Q4 タイで生産され、多くの国へ輸出されている果物は?

(答えは4ページ下をご覧ください。)

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail:kokusai@opief.or.jp



情報公開

平成29年度収支計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

総括表

〔Ⅰ〕 事業活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産運用収入	13,868,950	13,868,950	0
特定資産運用収入	645,522	645,522	0
会費収入	1,468,000	1,468,000	0
事業収入	1,355,443	62,000	1,293,443
負担金収入	1,494,407	150,000	1,344,407
補助金収入	47,420	47,420	0
受託事業収入	44,907,316	6,807,316	38,100,000
利用料金収入	89,378,780	0	89,378,780
雑収入	8,038,043	4,012,849	4,025,194
他会計繰入金収入	5,000,000	5,000,000	0
事業活動収入計	166,203,881	32,062,057	134,141,824
事業費支出	150,509,265	10,919,226	139,590,039
管理費支出	16,703,469	16,703,469	0
他会計繰入金支出	5,000,000	0	5,000,000
その他の支出	71,000	0	71,000
事業活動支出計	172,283,734	27,622,695	144,661,039
事業活動収支差額	△ 6,079,853	4,439,362	△ 10,519,215

〔Ⅱ〕 投資活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産取崩収入	0	0	0
特定資産取崩収入	0	0	0
建物付属設備売却収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
基本財産取得支出	0	0	0
特定資産取得支出	9,590,775	9,590,775	0
建物付属設備取得支出	0	0	0
投資活動支出計	9,590,775	9,590,775	0
投資活動収支差額	△ 9,590,775	△ 9,590,775	0

〔Ⅲ〕 財務活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
財務活動収入	0	0	0
財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0

〔Ⅳ〕 予備費支出

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
当期収支差額	△ 15,670,628	△ 5,151,413	△ 10,519,215
前期繰越収支差額	47,351,116	14,048,095	33,303,021
次期繰越収支差額	31,680,488	8,896,682	22,783,806

一般財団法人岡山県国際交流協会 評議員名簿

平成30年5月31日現在

役職名	氏名	職名
評議員	青山 肇	株式会社 中国銀行 専務取締役
〃	沖垣 達	重井医学研究所 名誉所長
〃	奥井 浩平	日本貿易振興機構(ジェトロ) 岡山貿易情報センター所長
〃	粕谷 明	岡山県市長会 事務局長
〃	亀森 敏宏	岡山県町村会 事務局長
〃	小林 章人	岡山県 県民生活部長
〃	高橋 邦彰	岡山商工会議所 専務理事
〃	辻 英明	公立大学法人 岡山県立大学学長
〃	中島 博	岡山県経済団体連絡協議会 座長
〃	羽田 浩	一般社団法人 岡山経済同友会 事務局長

(五十音順)

一般財団法人岡山県国際交流協会 役員名簿

平成30年6月11日現在

役職名	氏名	職名
代表理事	野崎 泰彦	岡山県経営者協会会長
業務執行理事	肥塚 秀文	一般財団法人 岡山県国際交流協会事務局長
理事	浦上 典江	岡山日本語センター理事長
〃	大月 史嗣	学校法人加計学園 学園国際交流局長
〃	近藤 英生	津山国際交流の会事務局長
〃	鈴木 剛史	公設国際貢献中学校 学校施設長
〃	曾田 佳代子	一般社団法人 大学女性協会 岡山支部支部長
〃	竹林 靖哲	岡山市市民協働局国際課長
〃	橋本 尚美	国際ソロプチミスト岡山会長
〃	橋本 信子	元 岡山県教育委員会委員長
〃	原田 美樹	岡山大学グローバル・パートナーズ 事務部 国際企画課長
〃	藤岡 隆幸	岡山県教育庁 高校教育課長
〃	松畑 照一	学校法人中国学園中国学園大学・中国短期大学学長
〃	森 健太郎	学校法人 森教育学園副理事長
〃	渡辺 正	岡山県県民生活部国際課長
監事	桑村 琢	一般社団法人 日本旅行業協会 中四国支部岡山地区委員会委員長
〃	吉岡 誠	岡山青年国際交流会顧問

(五十音順)

◆代表理事

当協会の代表理事に野崎 泰彦氏が就任しました。

ごあいさつ

理事の方々のご推薦により、6月から代表理事の職を務めることになりました。

皆様のご支援、ご協力のもと、岡山県の国際交流、国際協力・貢献活動の推進に向け、精一杯努力してまいります。よろしくお願いたします。

野崎 泰彦



情報相談コーナー・図書資料室ボランティア研修会

5月8日(火)

研修会には、4月から新しくボランティア活動を始めた1名を含む7名が参加しました。今年度の実施事業や館内Wi-Fiサービスなどの確認をした後、情報相談コーナー



研修会の様子

と図書資料室に分かれ、問題点や解決策について話し合いました。

情報相談コーナーでは、カウンターでの対応の仕方や書類の整理・保管方法を簡略化できないかなど、日頃から感じ

ていることについて話し合いました。

図書資料室では、来館者が利用しやすい本の配置や空間づくりについて意見を出し合いました。さらに、外国人など多くの方に図書資料室を利用してもらうために、ポスターの掲示や



活動内容の確認

定期発行誌の発行、会報誌への掲載、TwitterやFacebookなどのSNSを通じた情報発信をしてはどうかなど、アイデアが活発に出されました。

おかやまフェアトレードデー!

5月26日(土)

[基調講演] 講師・パネルディスカッション パネリスト：NPO 法人フェアトレード名古屋ネットワーク代表 原田 さとみ氏 [パネルディスカッション]

コーディネーター：岡山フェアトレードの会幹事 流尾 正亮氏

パネリスト：株式会社ビーエムディー 近藤 徳子氏、jam tun- ジャムタン主宰 田賀 朋子氏、岡山県立岡山一宮高等学校ユネスコ部長 田中 日和氏

[ワークショップ] ファシリテーター：岡山県 JICA デスク 守都 未来氏

[ポスターセッション] 岡山県立岡山一宮高等学校、岡山県立玉島商業高等学校、清心女子高等学校、岡山フェアトレードの会、岡山ユニセフ協会、コットン古都夢、jam tun- ジャムタン、Slow Coffee、株式会社ビーエムディー

共催：JICA 中国、岡山発国際貢献推進協議会、岡山フェアトレードの会

ワークショップには38名が参加し、身近な携帯電話やスマートフォンについて、その歴史や、生産から廃棄までのプロセスと課題について学び、持続可能な開発目標(SDGs)との関連について意見を交換しました。



ワークショップで解説する守都氏

ポスターセッションには県内の9団体が参加し、多彩な商品が展示された楽しい雰囲気の中、それぞれの詳しい活動発表が行われました。

基調講演には約100名が参加し、講師の原田氏が「途上国は美しい自然と素材に恵まれて、本物の豊かさがある。伝統に根差したものづくりの良さを先進国の消費者が知り、人にも環境にも社会にもやさしい

商品を選ぶようになれば、私たちの未来が変わっていく」と話しました。ファッションの分野でも、世界的に「フェアトレード」や「エシカル」が大きなテーマになっていることが指摘されました。また、2015年に日本で第2のフェアトレードタウンに認定された名古屋市では、市民が商品開発や多くのイベントに関わることで、活気のあるまちづくりや地域の課題解決につながっていることが紹介されました。

パネルディスカッションでは、原田氏のほか県内の3名のパネリストが加わって、フェアトレードに対する思いを発表しました。そして「買い物をするときに大切にしていること」「お店に売ってほしい商品」「フェアトレードをどこから始めるか」などについて、会場の参加者も交えて各自がボードに意見を書いてグループや全員で共有しました。



パネルディスカッションの会場の様子



ポスターセッションのブース風景



講師の原田さとみ氏

P2 タイクイズの答え：①4月 ②島々でダイビングやシュノーケリング、美しい海や砂浜 ③米 ④マンゴー、ドリアン、ランブータンなど

英語による絵本の読み聞かせ会

6月10日(日)

講師：岡山大学留学生 サハ・モウスミさん(バングラデシュ出身)
岡山大学留学生 テイ・シンケツさん(台湾出身)



講師と子どもたちが英数字と一緒に数えている様子

子どもと大人合わせて40名を迎え、今年度一回目を開催しました。

子どもと大人合わせて40名を迎え、今年度一回目を開催しました。

バングラデシュ出身のサハさんは「Inch by Inch」を読み聞かせました。何でも測れるしゃくとりむしが

たくさん元気なマドレーヌの鳥たちに出会う話で、サハさんの優しい声と色彩豊かな絵本の世界に子どもたちは引き込まれていました。

台湾出身のテイさんは「MADELINE」を読み聞かせました。友達12人でいつも一緒に暮らしているマドレーヌが主人公のテンポの良い物語で、テイさんは子どもたちの表情を見ながら、あたたかい雰囲気元気なマドレーヌで読み聞かせました。

どちらの本も英語の数字がたくさん登場するので、読み聞

かせの前に、1～12の数字を一緒に声に出して数えました。また、読み聞かせでは日本語訳を同時に付けることで、子どもたちは内容を理解しながら話の展開を楽しむことができました。

読み聞かせのあとは、講師による母国の紹介コーナーがありました。サハさんはバングラデシュに6つある季節の話や食べ物元気なマドレーヌの話、テイさんはランタン祭りや台湾で人気のキャラクターの話をして、子どもたちからたくさん質問が飛び交いました。

参加者からは「いろいろな国の方の英語に触れられて良かった」「子どもたちが楽しんでいた」などの感想が寄せられました。



サハさん(左)、ボランティアの草加さん(右)による読み聞かせ



テイさんによる母国台湾の紹介

日本文化体験・交流会

7月14日(土)

講師：[着付け]宮田 敏子氏 [お菓子作り]阿部 茉莉氏 [お琴]平野 慶子氏



「さくら」のワンフリーズに挑戦(左が講師の平野 慶子氏)

在住外国人と日本人参加者が57名集い、浴衣の着付けとお菓子作りをそれぞれ体験し、お琴の演奏を楽しみました。

着付け体験では、参加者は好きな柄の浴衣を選び、宮田氏の指導のもと、着付けに挑戦しました。参加者には「先生に教えてもらった手順を忘れないうちに、今度は自分でやってみる」と、浴衣を解いてもう一度挑戦する熱心な姿もあり「家でもっと練習して、上手に着られるようになりたい」といった意気込みも聞きました。持参した着物や浴衣をきれいに着付けする参加者の様子も見られ、美しい着物に魅了されました。

お菓子作りでは、阿部氏の指導のもと、楽しく作れて国に帰った後も作ることができる白玉あんみつに挑戦しました。各テーブルで協力し合い、白玉をくるくる丸めたり、あんこやフルーツ、抹茶アイスにトッピングしたりと、笑顔いっぱいの交流となりました。

午後の交流会では、平野氏によるお琴の演奏を

鑑賞しました。古典曲やクラシック、ジブリ映画の名曲など、外国人も身近にお琴の世界を感じることができる曲目を披露しました。参加者の、集中して音色を感じる様子からは、お琴の魅力に衝撃を受けたことが伝わってきました。演奏の後には、希望者が爪を付け、先生に教えてもらいながら「さくら」のワンフリーズを弾く体験をしました。演奏会や体験を通して、お琴や日本の音楽に、より一層興味が湧いた様子が伝わりました。



白玉を作っている様子



参加者全員で記念撮影

地域共生サポーター養成講座

7月21日(土)

講師：岡山NPOセンター代表理事 米良 重徳氏

県内で生活する外国人住民のコミュニケーションや生活面の支援に関心のある県民23



講義の様子

名を対象に開講しました。

米良 重徳氏を迎え「多文化共生社会に生きるために」と題した講義と、NPO法人岡山センターを立ち上げた際の経験談などを聞きました。多文化共生の社会を築くためには、それぞれの文化が違って対等な関係を維持することと、互いに価値観を押し付けない心構えが大事であるという話に、多くの参加者が共感しました。外国人との関係づくりにおいて、どの面を大事にするべきかについて改めて考える良い機会となりました。



グループでの話し合い活動

ワークショップでは、参加者が関心のある課題を取り上げてグループ

ワークを行い、その課題をどうやって解決していくかについて話し合いました。趣味や特技を生かして出会いの場をつくるという提案が出たり、多文化共生に関わる団体とイベントの情報を共有したりしました。

最後に、国際交流団体「地球屋」の代表である赤木 宣子氏と、外国人留学生の支援をしながら医療通訳ボランティアをしている中国出身の高野 麗艶氏から、外国人が必要としている支援や、外国人と出会うためのコツなどについて話を聞きました。

グループで討議した内容を輪になって発表することで、参加者同士の親近感が高まり、自由に意見交換をする姿がたくさん見られました。今後の活動に役立つ情報が得られた充実した時間でした。



参加者による発表、意見交換

多言語相談員スキルアップ研修会

8月4日(土)

講師：まつだ国際法務オフィス 行政書士 松田 葉子氏



講師の松田氏

務に必要なビザの知識」と題した研修会を実施しました。

中国語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語で相談業務を担当している相談員8名は、外国人の入国、在留手続きの基礎知識や、在留相談の際に在留資格の期限、家族構成、仕事、身元保証人などのビザに関係する内容を確認する点などを学びました。また、実際にあった相談事例の解説などもあり、講師の豊富な経験を基にした具体的で分かりやすい話を伺うことができました。

参加者からは「ビザの手続きと法律に関する知識を得ることができ、勉強になった」「在留延長の可能性がたくさんあることを認識した」「疑問に思っていたことを尋ねることができて良かった」などの感想が寄せられました。



外国人のための
無料生活相談

こちらのQRコードを読み取り、協会HPで
詳細をご覧ください。



研修会の様子

「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

岡山県が受け入れる海外技術研修員として4か月の予定で来岡した竹内さんと俵谷さん。2人ともブラジルでは機械工学を学ぶ大学生で、岡山では航空機部品等の生産を行う企業で研修を受けています。研修先は宿舎から遠いので通勤は大変ですが、充実した毎日を送っているようです。

一研修先ではどのようなことを学んでいますか。

俵谷:ガスタービンエンジンの一部に、特殊な表面加工を施す方法について学んでいます。理論の習得に加えて実践のチャンスもたくさんあります。



研修先の様子(左から竹内さん、俵屋さん)

竹内:表面加工については未経験なことが多く、正直なところ苦戦していますが、航空工学が好きな僕にとっては航空機のエンジンにも使われるパーツの加工ということで、テンションが上がりますね(笑)。

一研修で印象に残ったことはありますか。

竹内:とにかく暑いです! 作業場は、工程の都合上、いつもエアコンが効いているとは限りません。そして安全のために軽装ではないので、さらに暑く感じます。何かを作り上げるには、いろいろな苦労が伴うことを実感しました。

俵谷:毎朝、全体の朝礼のあと、各セッションでの朝礼もあり、情報の共有が徹底して行われていることが印象的でした。ものづくりをするには、常に連携を



研修先で笑顔の竹内さん



ブラジル研修員にインタビュー



竹内アンドレ和郎さん

TAKEUCHI ANDRE KAZUO

ブラジル・サンパウロ出身、
岡山県海外技術研修員、在住3か月

俵谷マテウスひろしまザルドさん

TAWARAYA MATHEUS HIROSHI MAZZARDO

ブラジル・クリチバ出身、
岡山県海外技術研修員、在住3か月



保ち協力していくことが不可欠だとわかりました。

俵谷:研修は大変ですが、楽しいですね。みんな優しく、話しやすいです。プライベートな旅行の相談も親切に聞いてくれました。

竹内:僕が着替えを忘れたときにはシャツをくれました。本当にお世話になっています。

一岡山での生活はどうですか。

竹内・俵谷:岡山は安全なところが好きです!

竹内:道路では、みんな歩行者を最優先にしてくれます。ブラジルは逆なので、感動しました。

俵谷:自動販売機が盗難されることなく置かれているのを見ると、安全な街であることを実感します。安心して歩けるので、私たちは休日のたびに街歩きをします。

竹内:おいしいものに出会えるのも街歩きの楽しみです。たこ焼き、かき氷、ゴーヤ、回転寿司、日本酒など興味のあるものに挑戦しています。宿舎近くのとんかつ屋では店主夫妻と仲良くなりました。いつも笑顔で話しかけてくれるので、行くたびに癒やされます。



ナスのお寿司に感動

俵谷:奉還町の呉服屋では浴衣の古着を手に入れました。「日本文化体験・交流会」(7月14日実施)で着方を学びながら他の参加者と交流できたのは楽しかったです。岡山は気さくな人が多く、たくさんの人と話せました。

一今後の意気込みをお聞かせください。

竹内:研修で学んだことは僕の財産になると思います。これを活かせる仕事に就けるよう帰国後も頑張ります。

俵谷:知らなかった分野の技術を習得でき、知識の幅が広がりました。柔軟な発想ができる社会人になりたいです。

日本では成人年齢を現行の20歳から18歳に引き下げる改正民法が今年6月に国会で可決され、2022年4月1日から施行されます。世界の成人と認められる年齢はどうなっているのでしょうか？

オーストラリア



フォヌア・モーゼスさん
(シドニー出身)
岡山県国際交流員/
滞在歴:約4年



オーストラリアの法律では18歳で大人です。誕生日を迎えるときは家族や友達などでお祝いをします。18歳になると、お酒やタバコを買ったり、お酒を扱うパブへ行ったり、バイトで働いたりできます。昔の法律で成人と決められていた21歳でお祝いする習慣も強く残っています。

私は18歳の時、お酒やタバコが苦手でした。しかし、オーストラリア人にとって大事な21歳になってから、お酒の楽しみ方が分かるようになり、好きになりました。

初めて投票した時の思い出は、今も強く残っています。私は父親と一緒に行きましたが、義務感はありませんでした。投票に行った理由は、ソーセージズル(イベントの屋台でよく見かけるソーセージのバーベキュー。白い食パンにトマトソースや玉ねぎとはさんで食べる)が無料だったからです。おいしかったその味を思い出すたびにお腹がペコペコになります。



オーストラリア名物ソーセージズル

ベトナム チュン・ゴク・タムさん
(クイニョン出身)
岡山大学大学院
環境生命科学研究科/
滞在歴:3年半



ベトナムでは、18歳または大学や専門学校1年生から成人となりますが、成人式や祝う習慣がありません。大人になったら選挙権があるし、タバコの購入、喫煙も法律で認められています。ベトナムでは親が子供にお酒の買い物を頼むことが多く、子供でもお酒が買えます。16歳になると飲酒できるので、お酒を飲む高校生が多いです。特に高校卒業の時には、大学や専門学校への進学を祝って飲み会でお酒をよく飲みます。

大人になったら、正確な判断、解決、行動が大事です。18歳になったら自立し、自分の将来のことなど考えなければなりません。私は成人してから親元を離れて大学生活を送りました。一人暮らしの生活は大変ですが、いつも両親が応援してくれています。



高校卒業の日にビールで乾杯!



世界女性会議岡山連絡会

団体概要

世界女性会議・NGOフォーラムで得た力をジェンダーに敏感な視点、グローバルな視点で、世界各国・地域及び日本国内・岡山県内の人たちとゆるやかなネットワークづくりをすすめています。21世紀においてジェンダー平等と女性の地位向上を推進するため、次の世代を育てる活動にも取り組んでいます。

事務局 〒704-8114
岡山市東区西大寺東2-1-37 Tokizane総合事務所内
代表 時實 達枝
TEL 086-943-1318
E-mail worldwomen1995okayama@gmail.com

活動紹介

- 世界女性会議「北京行動綱領」12のテーマと新しいテーマの学習、調査・研究、提言
- 研究会、シンポジウムの開催
- 国内及び国際NGO・NPOとの交流、連携・協力
- ニュースレターの発行



エンパワメントセミナー
-働くなでしこ大作戦-(小宮山 洋子元厚生労働大臣)



第4回世界女性会議参加セミナー
-この20年のエンパワメントを語ろう-

岡山県JICAデスク国際協力推進員に 着任しました。



独立行政法人国際協力機構(JICA)
岡山県国際協力推進員

もりとみき
守都 未来さん



皆様初めまして。

3月1日より岡山県JICAデスクに着任しております守都 未来と申します。高校生の時にAMDA高校生会でボランティア活動をしていたことをきっかけに国際協力の道を志しました。カナダの大学で国際開発学を学んだあと岡山に戻り、3人の子もたちを育てる中でお母さん方の孤立をひしひしと感じ、同じように子育てをしている仲間と子育て世代の孤立化を防ぐための取り組みをしようと、多文化共生の団体を立ち上げました。外国にルーツをもち岡山で子育てをされている方々と、楽しく交流することでお互いに助け合えるネットワークづくりの手助けになればと様々なイベントを企画運営しました。

2016年から岡山ユニセフ協会にて、出前授業の講師やイベントの企画実施などに携わる傍ら子育てサロンユニこクラブを主催しました。世界の子もたちが幸せに暮らせる社会ってどんなところだろう?自分はどうな世界を子どもたちに残したいだろうか?と考える中で、本格的に国際協力の仕事がしたいと思うようになり、今に至っています。また仕事の傍ら、岡山でフェアトレードの普及に向けた活動にも積極的に関わっています。

他県の推進員の皆さんと違いJICAボランティアの経験はありませんが、私なりの視点を大切に岡山での国際協力・国際理解の輪を広げていきたいと思っています。JICAボランティアに興味がある、国際協力の進路を考えている、企業や大学、自治体として貢献できることを知りたい、世界と自分とのつながりを知るイベントやワークショップに参加したいなど、ぜひお気軽にお声がけください。



AMDA職員と訪問したカンボジアのチャンバック小学校での交流風景
(中央が筆者)

岡山県JICAデスク連絡先

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1 岡山県国際交流協会 岡山県JICAデスク
[電話番号]086-256-2917 [FAX]086-256-2489 [URL]http://www.opief.or.jp/
[Eメール]jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp

イベントカレンダー

※都合により、内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

EVENT CALENDAR

10月

14日(日) 国際貢献・協力セミナー

食という出発点から、先進国と発展途上国を訪ね、人々と「学びあい」「体験を共有する」プロセスを経て感じたことや考えたことをお話しいたします。

- とき 10月14日(日)14:00~15:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 講師 コウケンテツ氏(料理研究家)
- 対象 一般県民 ●参加費 無料
- 定員 200名(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで

21日(日) 岡山を知ろう交流バスツアー

県内在住の外国人と日本人の参加を募り、貸切バスで県内の旧跡・観光地を巡るとともに、日本の文化を体験します。

- とき 10月21日(日)
- 行き先 笠岡市、矢掛町方面
- 対象 一般県民、岡山県内在住外国人
- 参加費 協会会員(日本人):1,000円、一般:3,000円
外国人:1,000円、小学生:800円
協会ボランティア:1,000円 ※昼食代含む
- 定員 一般県民14名、県内在住外国人38名
協会ボランティア10名(要申込み)
- 問合せ 企画情報課まで

11月

4日(日) 「岡山のCOOL 発見!」 第2回

岡山県や岡山市等の防災関連部署と連携し、大規模災害を想定した避難所運営及び災害時多言語支援センター設置訓練を実施します。訓練後は、県内在住外国人が「防災」をテーマに議論を交わします。

- と き 11月4日(日)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場 ほか
- 内容 午前:避難所運営、災害時多言語支援センター設置訓練、非常食体験
午後:県内在住外国人によるトークセッション
- 対象 一般県民
- 参加費 無料
- 共催 一般社団法人大学女性協会岡山支部、岡山県、岡山市
- 定員 80名程度(要申込み)
- 問合せ 企画情報課まで(10月上旬受付開始予定)

10日(土) 日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内在住外国人の日本語学習の機会の充実を図るため、開催します。

- と き 11月10日(土) 13:00~16:00
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 対象 日本語学習指導の経験のある方等
- 参加費 無料
- 定員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで(10月中旬受付開始)

18日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会 特別編

今回は特別編として、たくさんの外国人講師を招いて、いろいろな絵本の読み聞かせを行います。ゲームや講師による母国紹介、交流会もあります。

- と き 11月18日(日)
- ところ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール
- 講師 県内在住外国人
- 対象 県内在住の外国人及び日本人の子ども(3歳~小学6年生)とその保護者等
- 参加費 協会会員、外国人、小学生以下:無料
一般:2,000円
- 定員 60名(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで(10月上旬受付開始)

24日(土) 国際スポーツ交流事業 ピンポンde交流!

2020年東京オリンピックに向けて、県民と県内在住の外国人がスポーツを通じて交流を深めます。

- と き 11月24日(土) 13:00~16:00
- ところ 岡山国際交流センター 8階 イベントホール
- 参加費 無料
- 定員 32名(日本人16名、外国人16名)(要申込み)
- 問合せ 企画情報課(10月下旬受付開始)

11月

25日(日) 地球市民講座 第1回

「日スウェーデン外交関係樹立150周年記念 -幸せを呼ぶスウェーデンの福祉と労働そして日本の未来-」

日本でスウェーデンの福祉を取り入れた介護施設を運営しているスウェーデン出身の講師による講演と、ナビゲーターとのトークフォーラムを通じて、幸せを呼ぶ国スウェーデンについて考えます。

- と き 11月25日(日) 14:00~15:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 内容 スウェーデンの福祉、労働の現状と日本が進むべき福祉についてのトークフォーラム
ゲスト:ストランデル氏(株式会社舞浜倶楽部 代表取締役社長) [ナビゲーター] 沖垣 達氏(医学研究者)
- 講師
- 対象 一般県民 ●参加費 無料
- 定員 80名程度(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで(10月中旬受付開始予定)

5日(月)~10日(土) 海外マガジン無料配布

過去の海外マガジンと書籍を無料でお配りします。

- と き 11月5日(月)~11月10日(土) 10:00~19:00
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 配布マガジン TIME、NATIONAL GEOGRAPHIC、NEW YORK TIMES、tuoi tre、saopaulo、読者、人民中国 ほか
- 注意 海外マガジンは一人一日5冊まで。譲り受けたマガジンの売却はできません。また、個人の読書・学習以外の目的に利用することはできません。

12月

8日(土) 地球市民講座 第2回

「妹島 和世特別講演会

-環境と建築 自然と人間の共生を求めて-」(仮題)

世界で活躍する建築家の妹島 和世氏を迎え、犬島「家プロジェクト」や「岡山大学 Junko Fukutake Hall」など透明感ある作風で知られる作品への思いを聞きながら、急変している地球環境に融和した住まいづくりについて考えます。

- と き 12月8日(土) 14:00~15:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 講師 妹島 和世氏(建築家・SANAA共同代表)
- 対象 一般県民 ●参加費 無料
- 定員 120名(要申込み)
- 問合せ 企画情報課まで(10月中旬受付開始予定)

16日(日) 留学生と県民との交流会 特別編

県内在住の様々な国出身の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介をします。特別編は講師を10名程度招き開催します。

- と き 12月16日(日) 10:30~14:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール、8階 イベントホール(予定)
- 参加費 協会会員、外国人、高校生以下:無料
一般:2,000円
- 定員 60名(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで(11月中旬受付開始予定)

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

E-mail: kokusai@opief.or.jp

協会HP

